

阿久根市子ども・子育て会議録概要 (No. 1)

第2回	日 時	平成25年12月25日(水) 午後3時～午後4時	場 所	市役所第1会議室
-----	-----	-----------------------------	-----	----------

出席者(20名)	伊藤周平委員, 清水貴士委員, 折橋妙子委員, 今村英幸委員, 花田房義委員, 榎園すま子委員, 川原慎一委員, 釣井知美委員, 濱邊智美委員, 前平真澄委員, 出口隆盛委員, 飯尾章寛委員, 輿水 基委員, 上池浩策委員, 飛松健志委員, 寺地正吉委員, 原田正美委員, 五田貴子委員, 中山義邦委員, 佐潟 進委員
会次第	1 開会 2 議事
議事(概要)	<p>1 次子ども・子育て支援計画策定に係るニーズ調査について</p> <p>○ 事務局説明</p> <p>子ども・子育て会議支援計画策定に伴うアンケート調査結果概要に基づき説明。663件送付し, 323件回答があり, 48.7%の回収率があったこと, その他子どもの数等基本的事項の説明, 保護者の就業状況, 次世代支援計画評価の満足度等を説明した。</p> <p>○ 質疑</p> <p>Q1 今回回答のあったニーズ調査結果のみならず, 過去のデータとこれからの推計を示してもらわないとこの計画がなくなってしまう。又, 1号・2号・3号認定子どもの基礎資料としては目安とはなるが, アンケートの調査結果だけでは就業のケースも分からない場合もあるが, いかがお考えか。</p> <p>A1 これまでの経過や人口の推移, 今後の推計もデータとして出していきたいと思っている。特に, 地区の現状であるとか, 保育園の入所状況であったりとかいうデータは出していく予定でいる。</p> <p>Q2 行政が実施している事業について「すべてにおいて高くなっているのは」とあるのは何に比べて高くなっているのか, 他に何かアセスメントをやったことがあってそれに比べて高いと言っているのか。</p> <p>A2 他に比べるものがあるわけではなくて, この回答のなかで50%以上のものを高いと捉えたというところである。高いという表現については, 修正を検討する。</p> <p>Q3 統計において観念的に高い低いということは違うと思うが, 行政の取組として100%を目指していくのか, 目標値を示していくのかということが計画を策定していく上で必要になってくるのかなと思うが。</p> <p>A3 事業計画については, 毎年進行管理の必要があるため, 重ねて調査をし, 数値が上がっていくように目指していきたいと考える。そのあたりも計画の中に盛り込むかどうかは今後検討したい</p> <hr/> <p>2 子ども・子育て支援計画の構成について</p> <p>○ 事務局説明</p> <p>子ども・子育て支援計画の構成について, 幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援について市町村の定める区域ごとに5年間の計画期間における「量の見込み」, 「確保の内容」, 「実施時期」を記載すること, 又, 国の基準により定めなければならない「基本的記載事項」と地域の実情に応じて定めることとする「任意的記載事項」が規定されていることの説明。</p>

阿久根市子ども・子育て会議録概要 (No. 2)

第2回	日 時	平成25年12月25日(水) 午後3時～午後4時	場 所	市役所第1会議室
-----	-----	-----------------------------	-----	----------

<p>議事(概要)</p>	<p>基本的記載事項として教育・保育提供区域の設定に関する事項、各年度における教育・保育の量の見込み並びに実施しようとする教育・保育の提供体制の確保の内容及びその実施時期に関する事項、地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びに実施しようとする地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の内容及びその実施時期に関する事項、子ども・子育て支援給付に係る教育・保育の一体的提供及び当該教育・保育の推進に関する体制の確保の内容に関する事項が定められていることを説明した。</p> <p>また、承認事項として、市町村の定める区域ごとに、5年間の計画期間における必要量等を定めることとなるが、本市においては、阿久根市全体を一つの区域として定めたいことを提案したいが。</p> <p>○ 質疑</p> <p>Q1 区域を一つとしたときのデメリットはあるか。</p> <p>A1 その地域に保育施設が必ず1つ以上あるとかいう状況でもないので全域で考える。南部に住んでる人も北部の施設を利用するなど現在の既存の保育施設等の状況を考えた時に、全域の方がメリットがあるのではないかと考える。デメリットについては今のところ考えつくものが無い。</p> <p>Q2 人口減少のなか、保育施設のない区域の児童が既存の中心部等の施設まで出てこないと利用できない状況がデメリットではないか。</p> <p>A2 将来的な人口推移で必要な場合は考えられるが、今回は全体で考えたい。</p>
	<p>-----</p> <p>3 計画の基本理念について</p> <p>-----</p> <p>○ 事務局説明</p> <p>現在の次世代育成支援対策推進行動計画の理念として、1 未来を担う子どもたちが明るく健やかに成長できる地域ぐるみの環境づくり 2 子どもたちを持ちたいと願う人たちが安心して子どもを生み子育てできる環境づくり 3 親と地域ぐるみで未来を担う子どもたちに夢と希望を与えるために共に取り組む社会づくり としているところであるが、理念としてはこれを踏襲し、新たに子ども・子育て支援事業計画については、短いフレーズでわかりやすいものができたらと考えており、次回会議までに案があれば考えていただきたい。</p> <p>○ 議員からは質疑なく、次回までの課題としていただいた。</p>